（様式Ａ）　　　 「日本博」イノベーション型プロジェクト　実施計画書

1. 事業実施計画の概要

■事業概要

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名 |  |
| 開催期間 |  |
| 開催地・会場 | 都道府県：市区町村：　　　会場名： |
| 分野 | ◆主な分野（１つだけチェックしてください）[ ] ①美術・文化財　　　　　　　　[ ] ②舞台芸術　　　　　　　[ ] ③メディア芸術[ ] ④生活文化・文芸・音楽　　　　[ ] ⑤食文化・自然　　　　　[ ] ⑥デザイン・ファッション[ ] ⑦共生社会・多文化共生　　　　[ ] ⑧被災地復興　　　　　　◆その他分野（複数選択可）[ ] ①美術・文化財　　　　　　　　[ ] ②舞台芸術　　　　　　　[ ] ③メディア芸術[ ] ④生活文化・文芸・音楽　　　　[ ] ⑤食文化・自然　　　　　[ ] ⑥デザイン・ファッション[ ] ⑦共生社会・多文化共生　　　　[ ] ⑧被災地復興　　　　　　 |
| 主催者/共催者等 | 主催：〇〇〇〇〇（応募団体名は必ず記載してください）　　　　　　　協力：〇〇〇〇〇共催：〇〇〇〇〇　　　　　　　　協賛：〇〇〇〇〇　　　　　　　　　その他　〇〇：〇〇〇〇〇 |
| 事業概要（要旨）※300字程度 |  |

■申請済（又は申請予定）の文化プログラム認証

|  |  |
| --- | --- |
| （１）東京2020公認文化オリンピアード | 　[ ] 申請済（認証番号：　　　　　　　）　[ ] 申請予定あり　　　[ ] 申請予定なし |
| （２）東京2020応援文化オリンピアード | 　[ ] 申請済（認証番号：　　　　　　　）　[ ] 申請予定あり　　　[ ] 申請予定なし |
| （３）beyond2020（※申請は必須です） | 　[ ] 申請済（認証番号：　　　　　　　）　[ ] 申請予定 |

■他の令和３年度補助金・助成金等への応募の有無

|  |  |
| --- | --- |
| 国（他省庁等）の令和３年度補助金・助成金等への応募 | [ ] 有　　　　　　　　　　　[ ] 無 |
|  | 応募した補助金・助成金等の名称、申請額（補助金・助成金ごとに個別に記載してください） | （名称） | （申請額）　　　　　　千円 |
| （名称） | （申請額）　　　　　　千円 |
| その他の令和３年度補助金・助成金等への応募 | [ ] 有　　　　　　　　　　　[ ] 無 |
|  | 応募した補助金・助成金等の名称、申請額（補助金・助成金ごとに個別に記載してください） | （名称） | （申請額）　　　　　　千円 |
| （名称） | （申請額）　　　　　　千円 |
| 芸術文化振興基金（令和３年度募集）への応募 | [ ] 有　　　　　　　　　　　[ ] 無 |

※　実施計画書内に、他の令和３年度補助事業等に応募した事業・取組が含まれる場合は、それぞれ「有」を選択してください。

|  |
| --- |
| 実施計画書に記載すべき要件 |
| 各要件について、別紙１に詳細を記載してください。**※①から⑬は必須要件です。全てのチェックボックスを選択の上、別紙１に詳細を記載してください。**[ ] ①「日本博」の総合テーマ「日本人と自然」及び基本コンセプトに沿った内容であること。[ ] ②我が国若しくはそれぞれの分野における代表的な文化芸術プロジェクトであって、又は当該実施地域の代表的な特色ある文化芸術プロジェクトであって、国内外に発信するものとしてふさわしいものであること。[ ] ③それぞれの分野において独自性や優位性が大きく認められる、新規性・創造性が高いプロジェクトであること。なお、美術・文化財、舞台芸術、メディア芸術、生活文化・文芸・音楽、食文化・自然、デザイン・ファッション、共生社会・多文化共生、被災地復興等の複数分野が連携するプロジェクトであること、又は異なる時代の文化芸術を比較したプロジェクトであること等の工夫があると望ましい。[ ] ④文化資源を有効に活用するプロジェクトであって、新しい手法・演出や最先端技術を導入していること。[ ] ⑤「日本博」で培ったノウハウをその後の文化芸術活動におけるレガシーとして活かして継続する観点が含まれたプロジェクトであること。　　（プロジェクト実施後において、組織体制や地域における支援体制、人材育成、ノウハウの構築など、プロジェクトの成果が文化芸術活動に具体的に活かされ、評価されうるものであること。）[ ] ⑥インバウンド需要回復に資する取組の工夫がなされていること。・訪日外国人の関心が高い内容であること　　・ストーリー性に配慮した解説をするなど訪日外国人にとって分かりやすい内容であること　　・訪日外国人や海外への「日本博」のプロモーションのために、プロジェクト実施の映像や画像の活用を含む多言語での情報発信等が行われること　等[ ] ⑦国内観光振興や地方への誘客に資するプロジェクトであること。[ ] ⑧東京オリンピック・パラリンピック競技大会を機に世界にアピールする観点を含む計画であること。[ ] ⑨「日本博」で培ったノウハウをその後の我が国・社会のレガシーとして生かして継続する観点が含まれたプロジェクトであること。　　（プロジェクト実施後において、組織体制や地域における支援体制、人材育成、ノウハウの構築など、プロジェクトの成果が我が国・社会に具体的に活かされ、評価されうるものであること。）[ ] ⑩「beyond2020プログラム認証要領」（平成29年5月26日文化庁作成）第２条の要件を満たすプロジェクトであること。[ ] ⑪プロジェクトの実現可能性が高いこと又は実施するための実績があること、かつ、プロジェクトを実施することが可能な体制を有していること。[ ] ⑫事業実施の効果について明確な目標を設定し、地元の大学やシンクタンク等の専門機関による効果検証を行う、又は事業実施の報告等で協力する計画であること。[ ] ⑬資金計画が、経費や規模の面で合理的であること。**※⑭から⑯については、要件を満たす場合はチェックボックスを選択の上、別紙１に詳細を記載してください。**[ ] ⑭下記のいずれかを満たすこと（複数選択可）。・子供・若者・高齢者等の文化芸術活動の促進に資する取組を行うこと(企画内容や、参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む)。 　・障害者等の文化芸術活動の促進に資する取組を行うこと（企画内容や、参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む）。　　・多文化共生の推進に資する取組を行うこと（企画内容や、参加者にとっての阻害要因を取り除く取組を含む）。・被災地に関するプロジェクトであって、国内外の発信や被災地へ誘客する工夫がなされていること。[ ] ⑮プロジェクト内容の成熟度が高く、複数年にわたる準備が必要なものは、その計画性が示されていること。[ ] ⑯民間の協賛金や助成金、クラウドファンディングなどの外部資金の獲得や、自己収入等を活用する具体的な取組が設定されていること。 |

|  |
| --- |
| 調整要件 |
| 各要件について、該当する場合にはチェックボックスを選択の上、別紙２に詳細を記載してください。[ ] （１）美術、文化財、伝統芸能、現代舞台芸術、メディア芸術、生活文化などの複数分野の文化芸術が連携しつつ、ＡＩなどの最先端技術を導入しているプロジェクトである。[ ] （２）被災地と協働して行う被災地復興に資するプロジェクトである。[ ] （３）アイヌ文化や琉球文化振興をはじめとする多文化共生の推進に資するプロジェクトである。[ ] （４）観光庁に登録された日本版ＤＭＯ（日本版ＤＭＯ候補法人は除く）と協働して実施するプロジェクトである。[ ] （５）障害者等の文化芸術活動の促進に資するプロジェクトである。[ ] （６）新たな環境を見据えて、多言語映像コンテンツの制作・発信等に力を入れた取組である。[ ] （７）補助事業者の財政規模又は事業規模が一定の割合である。　[ ] （ア）地方公共団体の場合＝財政力指数が０．５以下※　財政力指数＝地方交付税法（昭和２５年法律第２１１号）第１４条及び第２１条の規定により算定した基準財政収入額を同法第１１条及び第２１条の規定により算定した基準財政需要額で除して得た数値の過去３年間の平均値　[ ] （イ）民間団体の場合＝事業規模指数が０．１以上※　事業規模指数＝補助対象経費の総額／補助事業者の財政規模※　当該補助事業者の財政規模当該事業を実施する日の属する会計年度の前々年度以前３会計年度の平均収入額実績がない場合は当該年度の収入見込額。 |

**※ 以下の記載については、審査の視点（「募集案内」Ｐ.２２）等を十分に踏まえ、簡潔かつ明瞭に記載してください。**

1. 令和３年度事業計画について

■令和３年度事業計画

|  |
| --- |
| 令和３年度の事業計画 |
|  | 事業の趣旨・目的 |  |
| 事業計画 |  |
| 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、文化芸術の魅力発信・誘客効果を高めることができるような工夫 |
|  |
| 年間スケジュール |
| ４月 | ５月●●● | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 |
|  |  | ●●● |  | ●●●●●● |  |  |  |  |  |  |

■令和３年度事業計画の達成目標

|  |  |
| --- | --- |
| 参加者数の目標値 | 　　　　　　　　　　　人 |
| ＜目標値の積算根拠＞ |
| 経済波及効果の目標値 | 　　　　　　　　　　　円 |
| ＜目標値の積算根拠＞ |
| 観光インバウンド需要回復の指標と目標値 | ＜本事業の実施により期待される観光インバウンド需要回復に対する効果、具体的な取組内容＞ |
| ＜上記取組による効果を測るための客観的・具体的な基準（指標）＞ |
| ＜上記指標に関する定量的な目標値＞ |
| ＜目標値の積算根拠＞ |
| 国内観光振興の指標と目標値 | ＜本事業の実施により期待される国内観光振興に対する効果、具体的な取組内容＞ |
| ＜上記取組による効果を測るための客観的・具体的な基準（指標）＞ |
| ＜上記指標に関する定量的な目標値＞ |
| ＜目標値の積算根拠＞ |
| 社会的・文化的効果の指標と目標値 | ＜本事業の実施により期待される社会的・文化的効果、具体的な取組内容＞ |
| ＜上記取組による効果を測るための客観的・具体的な基準（指標）＞ |
| ＜上記指標に関する定量的な目標値＞ |
| ＜目標値の積算根拠＞ |
| ＜効果検証の方法＞ |

1. 今後の事業構想について

|  |
| --- |
| 令和３年度を始期とする３年程度の期間の事業構想 |
|  | 事業構想の概要 |  |
| 予算計画（可能な範囲で記載してください。） |
| 令和３年度 | 総事業費：　 | 令和４年度 | 総事業費： | 令和５年度 | 総事業費： |
| 要望額： | 要望予定額： | 要望予定額： |

※注：ここには、それぞれ収支予算書(様式Ｂ)の「支出の部合計（Ｃ）」・「補助金の交付要望額」と同額を記載ください。

４．その他

|  |  |
| --- | --- |
| URL |  |
| 公表可能時期 |  |
| 参加料 | [ ] 有　　　　　[ ] 無　　　※一人当たりの参加料（一般・大人の場合）　　　　　　　円（予定） |
| 映像・画像提供 | 広報のための映像や画像提供についてご協力ください。（画像）　提供の可否：　　[ ] 可　　　[ ] 不可　　　（動画）　提供の可否：　　[ ] 可　　　[ ] 不可　　　　　 |
| 本事業の対象者 | [ ] 子供　　　　[ ] 高齢者　　　　[ ] 障害者　　　　[ ] 外国人[ ] その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 文化庁の他の委託・補助事業への応募の有無 | [ ] 無　　※　同一の事業内容について、他の文化庁事業への応募はできません。 |
| 「日本博」参画プロジェクトへの応募の有無 | [ ] 有　　　　　　　　　　　[ ] 無 |

※本計画書にご記入いただいた内容を、ご相談の上で、プロモーション等に使用するため引用させていただく場合がございます。また、プロモーション資料等の編集の際、表記の統一や分量を図るために、若干の修正などご協力をお願いすることがございます。予めご了承ください。